



みんなで考えよう まちづくりの「ルール」	・・・02—05
南光子ども歌舞伎クラブにふるさと文化賞	・・・06
FLASH NEWS (まちの話題)	・・・12—13
シリーズ「笑顔の輪」	・・・24



福原城跡で史跡について説明を受ける参加者

地域の宝を知り 愛着心をはぐくむ

地域の史跡や名所などをめぐる「歩こう会」が、2月3日、佐用地域周辺で開催されました。同地域づくり協議会が主催し、地域住民など約40人が参加。暖かい日ざしの中、参加者は吉福荒神さんや福原城跡などを訪れ、地元ガイドから史跡の歴史などを学びながら散策しました。

同会センター長の依田吉充さん(上長尾)は「地域の宝物を知ることで、地域への愛着心をはぐくむことにつながれば」と話していました。



まちづくり基本条例（案）の構成

現在の素案では、6章31条から構成され、まちづくりの基本原則や町民等、町議会、行政の役割、責務などが明記されているほか、13の地域づくり協議会への支援など、地域づくり協議会の活動を担保することで、より一層町民主体のまちづくりを推進させます。

前文

第1章 総則

- 第1条 目的
- 第2条 定義
- 第3条 まちづくりの基本原則

第2章 まちづくりの主体

- 第1節 町民等
 - 第4条 町民等の権利及び役割
 - 第5条 防災への取り組み
- 第2節 町議会
 - 第6条 町議会の権限
 - 第7条 町議会の責務
 - 第8条 町議会議員の責務
- 第3節 行政機関
 - 第9条 町長等の権限及び責務
 - 第10条 職員の責務

第3章 参画と協働のしくみ

- 第1節 町政への町民参画

- 第11条 参画と協働の推進
- 第12条 意見公募制度
- 第13条 審議会等の運営
- 第2節 協働のまちづくり
 - 第14条 コミュニティの形成
 - 第15条 地域づくり協議会の設置
 - 第16条 まちづくり活動への支援
 - 第17条 生涯学習の推進
- 第3節 まちづくりに必要な情報の共有
 - 第18条 情報の共有における町長等の責務
 - 第19条 個人情報の保護
 - 第20条 町民等と町長等との情報共有
 - 第21条 町民等同士の情報共有

第4章 行政運営

- 第22条 総合計画等
- 第23条 財政運営
- 第24条 政策法務
- 第25条 行政評価
- 第26条 行政組織
- 第27条 行政手続
- 第28条 危機管理

第5章 国及び他の地方公共団体との関係

- 第29条 国及び他の地方公共団体との関係

第6章 条例の位置付け及び検証

- 第30条 条例の位置付け
- 第31条 条例の検証及び見直し



「まちづくり基本条例」制定に向けて町民シンポジウムを開催

みんなで考えよう まちづくりの「ルール」

まちづくりにおける町民の役割や行政、議会の責務などを盛り込んだまちづくりの基本的なルール「まちづくり基本条例」の制定に向け、2月5日にさよう文化情報センターで町民シンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、素案の説明や作成に関わったまちづくり推進会議顧問で帝塚山大学大学院教授の中川幾郎さんと、からくさ塾主宰の小嶋明さんがそれぞれ講演を行いました。今月号では、その内容をお知らせします。

条例は3月町議会に提案

この条例の制定は、平成23年9月に各種団体や地域の代表者で構成する「まちづくり推進会議」がまちづくり基本条例分科会を設け、検討を開始。委員17人が約1年間、13回にわたり協議を重ね、条例素案を作成しました。

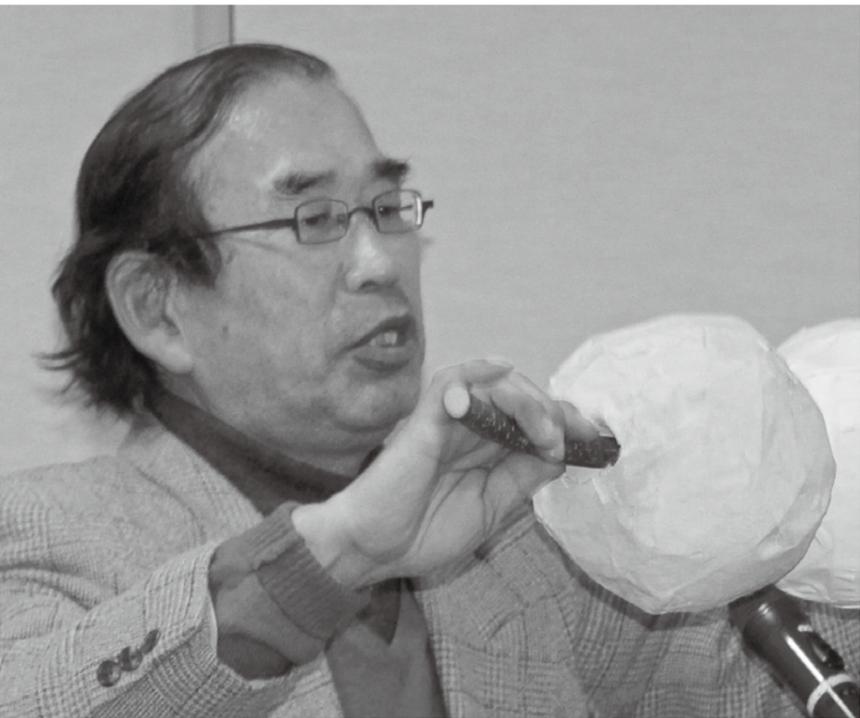
素案は全部で6章31条で構成（3ページを参照）。町民議会、行政の役割や責務が明記されているほか、地域づくり協議会の活動を改めて定義しています。

昨年12月には、同分科会が提言書を町へ提出。意見募集を行い、素案に対する意見を広く聴きました。寄せられた意見は最終素案に反映し、4月1日施行を目指して3月町議会に提案されます。

120人が熱心に聴講

条例制定に向け、町民の

皆さんとこの条例を考える「町民シンポジウム」が2月5日、さよう文化情報センターで開かれました。各地域づくり協議会の役員や同推進会議委員など約120人が参加。シンポジウムの冒頭、同推進会議会長の坂口榮さん（鎌倉）が「今日のシンポジウムを今後の地域づくり、まちづくりにつなげていく機会にしよう」とあいさつ。また、素案作成に携わったメンバーを代表して、同推進会議分科会長・岸井春乗さん（西山）と同会委員の筏由美子さん（林崎）が素案の概要を紹介。これまでの経過や条例の必要性などを説明しました。その後、同推進会議顧問の中川幾郎さんが条例の意義などを、また同顧問の小嶋明さんが条例をいかすまちづくりをテーマにそれぞれ講演。参加者は真剣に耳を傾けていました。4～5ページでは、講演内容をくわしくお伝えします。



町まちづくり推進会議 顧問
からくさ塾主宰 (多可町中村町自治会長)

小嶋 明さん

町民・議会・行政を つなぐ『串』の役割

7年4カ月の成果と課題

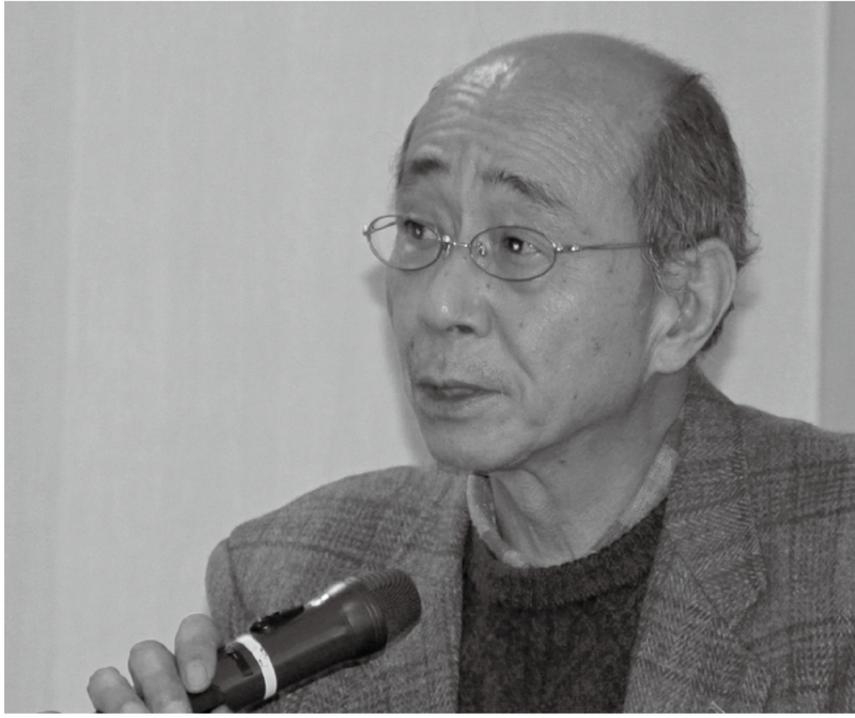
合併から7年4カ月。これまでの「協働のまちづくり」を振り返り、条例第14条「コミュニティの形成」の視点から、この条例をどう生かしていくかを考えてみます。これまで、私はアドバイザーとして、合併後の佐用町のまちづくりに携わってきました。

当初、地域づくり協議会では、地域の課題や資源を共有しようというワークショップなどを実施。また、三日月地域では女性の参画を促すため、男女共同参画を考えるフォーラムを開催しました。さらには、町全体のまちづくりを考える場として、「まちづくり推進会議」が発足し、着実に新しいまちづくりが進められてきました。

そこに平成21年8月、豪雨災害が発生。この災害は集落役員の担い手不足をはじめ、買い物弱者など地域の課題を改めて浮き彫りにさせました。

集落の課題は共同責任

私は地元集落の自治会長を務めています。この災害の教訓を学び、



町まちづくり推進会議 顧問
帝塚山大学大学院教授

中川幾郎さん

まちづくりを理解する ための『手引書』

住民自治を条例で定める

まちづくり基本条例の役割は大きく分けて二つあります。一つは、佐用町のまちづくり、自治を簡単にわかりやすく示すこと。もう一つは、防災への取り組みや地域づくり協議会など、町独自制度の規定ができることです。

この条例を制定する意義は、▽町の運営理念と原則(Ⅱ町として何を大事にして行動するのか)を確認する▽町民や議会、行政の役割、責務を明記する―などが上げられます。

中でも、私が特に重視したいのは、「住民自治」の規定です。地方自治は、『団体自治(行政と議会)』と、『住民自治(自治会や地域づくり協議会、NPOなど)』によって支えられています。

協働のまちづくりを一層推進

条例が必要な時代背景には、少

子高齢化・過疎化が深く関わっています。過疎化による諸課題の解決には、行政だけでなく町民の皆さんの力が必要です。しかし、多くの市町村で、「団体自治」と「住民自治」の両輪が機能していない現状が見受けられます。

今後、地方交付税の削減など、町合併による財政的な支援が減少します。そうした中で、条例は住民と行政がその役割を再確認し、町民と行政の「協働のまちづくり」をより一層推進していくことにつながります。

町独自制度を組み入れる

今回の素案には、地域づくり協議会の活動支援や、平成21年8月の豪雨災害を踏まえた「防災への取り組み」をはじめ、意見公募制度(パブリックコメント)、情報共有、総合計画、行政評価、危機管理など、町独自制度の規定が入っています。

佐用町のまちづくりの現状をとらえ、今後どう進めていくのか。こうした町の将来像を描いたこの条例は、佐用町のまちづくりを理解するための『手引書』となります。

新しい仕組みづくりが必要

集落機能が弱体化し、単独の集落では防災など広域的な課題に対応できません。自治会長の負担も増す中、こうした課題解決のためには、補完機能としての役割を担う地域づくり協議会の強化が必要です。また、自治会同士の相互協力を進め、自治会再編など新しい仕組みづくりも考えていかなければならないでしょう。

最後に、条例は町民・議会・行政をつなぐ『串』と考えてください。まちは一人ひとりの営みで成り立っています。多様な連携と協働があつてこそ、町が輝くのです。



受賞を喜ぶ南光子ども歌舞伎クラブの皆さんと嵐獅山さん（左）、春名会長（右）



早期完了を願って関係者が「くわ入れ」を行いました

今月の注目
2
Monthly
Pick up

長年懸案の道路が着手 27年度完了を目指す

国道179号「徳久バイパス」が工事開始
下徳久集落と林崎集落を結ぶ国道179号・徳久バイパスの工事が、このほど着工されました。総事業費は約23億円。完成は平成27年度の予定です。

同バイパス工事は、JR 姫新線・播磨徳久駅周辺の渋滞緩和を目指すのが狙いです。昭和45年に検討委員会が発足し、ルートの検討を開始。昭和61年には「国道179号徳久バイパス建設促進協議会」を発足させ、事業化に向けて協議を進めてきました。平成22年に国庫補助事業が採択され、このたび、県が実施主体となって工事着手する運びとなりました。計画では、道路延長が約1,260m。通称「佐用坂」から法覚寺までの571mをトンネルで掘り、太田井橋の東側の付近につながります。現在の太田井橋は架け替え、県道との太田井交差点は山側に移動します。総事業費は約23億円。平成27年度完成の予定です。工事に先立ち、1月29日に起工式が行われました。式には県や町、工事関係者、地元住民など約60人が参加。神事後、庵道町長など4人が一斉にくわ入れを行いました。

今月の注目
1
Monthly
Pick up



昨年10月の西播磨オータムフェスタでの公演

地域の「誇り」を守る 取り組みに栄誉

南光子ども歌舞伎クラブが「ふるさと文化賞」受賞
県内の伝統文化を継承する個人、団体に対して贈られる「ふるさと文化賞」に、南光子ども歌舞伎クラブが選ばれました。町としては初の受賞となります。

同賞は、昭和57年度から行われ今年で31回目。これまで県内の約100団体・個人が受賞しています。今回の受賞は合併前を含め、町としては初の受賞となります。同クラブは、平成4年に三河小学校の児童20人で結成。国指定重要有形民俗文化財の農村舞台「上三河の舞台」を活用しながら、地域の誇りを守り続けようと活動しています。現在、同校の1年生から6年生10人が、「寿・式三番叟」や「義経千本桜」などの演目に取り組み、年3〜4回町内外で公演しています。演技の指導は播州歌舞伎一座座長の嵐獅山さん（多可町）が20年以上携わり、育成会と保存会が活動を支えています。育成会と保存会の会長を務める春名薫さん（上三河）は「受賞は子どもたちの頑張りだけでなく、嵐先生の指導や、地域と学校、保護者の皆さんの協力があったから。本当にうれしい」と笑顔を見せていました。



シリーズ より良い教育・保育環境をつくる

Vol.11

三土中学校の現状と今後

学校の規模適正化については、現在、小学校区単位で懇談会や委員会を設置し、協議が進められています。また、規模適正化に向けた協議は、佐用町だけでなく、隣接の宍粟市でも進められています。今月号では、三河小学校区と宍粟市立土万小学校区の生徒が通う三土中学校の現状と今後のあり方についてお知らせします。

現状

●生徒数は平成28年度以降減少傾向

三土中学校の生徒は、平成24年度当初で41人。内訳は三河小学校区が27人、土万小学校区が14人です。現在の人口予測に基づくと、今後の生徒数は25年度から27年度まではやや増加するものの、それ以降は減少傾向に転じ、平成35年度には27人になると予測しています。

●土万小学校区の生徒は山崎西中学校への通学を検討

現在、土万小学校の児童数は37人。一部複式学級ですが、児童数の減少によって平成26年度からすべての学年で複式学級（1・2年、3・4年、5・6年の3学級）になる予定です。

そのため、宍粟市では、▷平成26年度に土万小学校と菅野小学校を統合▷統合後、土万小学校区の生徒は山崎西中学校へ通学などの協議が進められています。

今後

●三土中学校区の保護者を対象に意見交換会を開催

上記の現状を踏まえ、町では、さらに減少する三河小学校区の生徒をもって学校運営することは難しいと考えています。

現在、三土中学校区の保護者を対象に意見交換会を開催していますが、今後、さらに意見交換の機会を持ち、三土中学校の閉校などについて協議を重ねていく予定です。

問 教育委員会 ☎82-2424

西はりま消防組合

4月発足へ設置宣言式を開催 5市町長が署名



(写真上)
宣誓書を手にする5市町長
(写真左)
消防職員約40人が参加した創作劇

4月1日に佐用町と太子町、たつの市、宍粟市、相生市の3市2町を管轄する「西はりま消防組合」発足に伴って、2月3日、たつの市アクアホールで同組合の設置宣言式が行われました。

市町の代表者や地域住民など関係者約600人が出席。構成市町を代表して西田正則・たつの市長が「新たな組織で、安全・安心のまちづくりに、より一層取り組んでいきます」とあいさつ。その後、宣言書に5市町長が署名しました。

式典終了後には、たつの市消防本部の消防職員で組織する劇団「炎」が中心となり、5市町の消防職員約40人が創作劇を披露。地震発生を想定した救助活動を行う劇を熱演しました。

問 西播磨消防広域化協議会事務局 ☎0791-72-2605

地域の安全・安心を守る 皆さんの力が必要です 消防団員募集

「自分が育った町、自分が暮らす町、大切な町を守りたい」。そんな人たちが集まる消防団に、あなたも入団しませんか。地域を知るあなただからこそできることがたくさんあります。みんなの町をいっしょに守りましょう。

■消防団員になるための資格・要件

- ①町内に在住・在勤する18歳以上のかた
- ②身体強健で、団員として品位を保持できるかた

問 企画防災課防災対策室 ☎82-0664





子どもたちの熱い戦い(町子ども会駅伝大会)

がんばった人たちに
**スポーツ
ひろば**
(敬称略)

第8回子ども会駅伝大会

- 開催日 1月20日⑩
- 場所 南光スポーツ公園周辺
- 混合の部
- 第1位 久崎小(高見駿治・小谷林暖・高見遼・服部美耶・西本倫太郎・金澤すず・草加瑞希・芳原隆井)
- 第2位 徳久小(鎌内亮介・春井七海・瀬尾真佳・森)

- 本陽希・内堀未夢・小南萌香・稲田卓杜・渡瀬瑛司)
- 第3位 三日月小A(小笹純一郎・春尾歩生・伊藤聖人・清水あさひ・幸田旺宇・仲元麻美華・眞岡彩夏・藤木万勝)
- 【女子の部】
- 第1位 三日月小A(出水瑞希・古川歩・日向梓・梶本深月・西川夏海・西口茉奈美)
- 第2位 佐用小(植田真央・岡本春愛・島津楓・横山詩萌・竹田有香・河野理乃)
- 第3位 三河小(阿曾沙耶・小久保亜美・田中唯・大前香衣菜・田中早希・春名優花)
- 【男子の部】
- 第1位 佐用小(岡本琉依・井口心吾・岡本遼・孝本慎之介・萩原峻天・石黒由矩)
- 第2位 三日月小A(小笹)

- 太誠・上谷海那斗・松嶋一樹・下出侑弥・大山涉真・原田啓佑)
- 第3位 利神小A(棒谷一輝・中野悠聖・武田翔・井口詩音・中野涼聖・春名典瑚)
- 個人賞
- 【混合の部：男子】
- 第1位 藤本温翔(中安小A)
- 第2位 高見駿治(久崎小)
- 第3位 高見 遼(久崎小)
- 【混合の部：女子】
- 第1位 井上芽依(利神小)
- 第2位 小西美莉亜(中安小A)
- 第3位 廣畑真歩(上月小A)
- 【女子の部】
- 第1位 西口茉奈美(三日月小A)
- 第2位 出水瑞希(三日月小A)
- 第3位 植田真央(佐用小)
- 【男子の部】
- 第1位 石黒由矩(佐用小)
- 第2位 孝本慎之介(佐用小)
- 第3位 岡本琉依(佐用小)



男子1区小林和弥選手から2区森田大貴選手へのタスキリレー

**第67回男子/第28回女子
兵庫県都市区対抗駅伝
競走大会**

2月3日、加古川市で開催された兵庫県都市区駅伝競走大会に、佐用郡から男女各1チームが参加しました。

この競技は兵庫県陸上協会などの主催で毎年開催されるもの。加古川の河川敷公園コースで、男子は7区を、女子は5区を、沿道の声援を受けながらタスキをつなぎました。結果は両チームとも入賞こそ逃したものの持てる力を出し切りました。

軽自動車や単車の廃車
手続きは3月中に

原動機付自転車や軽自動車などの「軽自動車税」は、毎年4月1日現在の所有者に課税されます。車両を処分したり、他人に譲ったときは、4月1日までに必ず廃車の手続きしてください。手続きをしないと、引き続き課税されます。

■手続きの方法

原動機付自転車(125cc以下)・小型特殊(トラクターなど)は、ナンバープレートと印かんを持参し、税務課、または支所・出張所で手続きをしてください。自動二輪・軽四自動車は販売店か佐用郡自家用自動車協会(☎82-2416)で手続きをしてください。

■その他

原付、小型特殊などを購入したり、譲り受けたりしたかたは、ナンバープレートの交付申請をしてください。印かん、販売証明書、廃車証明書などを持参し、税務課、各支所・出張所で手続きをしてください。

町税の前納報奨金
**段階的に引下げ
廃止になります**

個人の町県民税(普通徴収)や固定資産税については、第1期分の納期限内に一括納付をした場合などに交付している前納報奨金の制度を変更しています。

この制度は、税収の確保や納税意欲の高揚を目的に創設されました。しかし、制度の一定の目的が達成されたため、昨年度から段階的に引き下げ、平成26年度に廃止することになりました。

なお、前納報奨金の制度が終了しても、引き続き前納(一括納付)は行えます。

■年度別引下げ状況

- 平成25年度 昨年度の2分の1
- 平成26年度 廃止

☎税務課町税対策室 ☎82-0662

☎税務課町税対策室 ☎82-0662

平成24年分所得税確定申告
平成25年度町・県民税の申告相談

3月15日(金)まで

平成24年分所得税確定申告、平成25年度町・県民税の申告相談は3月15日(金)までです。申告がお済みでないかたは、期限までに申告をしましょう。

自治会ごとの申告相談日に不都合がある場合などは、同一会場またはその地域や町全体の申告相談日にお越しください。

- 町全体の申告相談 3月10日(日)~15日(金)
- 受付時間 午前9時~午前11時30分 午後1時~午後3時30分
- 受付場所 さよう文化情報センター

■災害による雑損控除の繰り越し

昨年、災害による雑損控除の繰り越しをしたかたのうち、翌年に繰越額のあるかたは今年の確定申告で税を軽減することができます。

税務署から届いた所得税の確定申告の書類一式および平成23年分の所得税の確定申告書(損失申告用)の控えを必ずご持参ください。

☎税務課町税対策室 ☎82-0662





雪が積もったグラウンドで応急担架訓練を行う参加者

日ごろから備えを進めよう

三河地域防災力強化訓練

1月19日、三河小学校で地域住民など約300人が参加し、三河地域防災力強化訓練が行われました。

同地域づくり協議会などが主催し、3回目。地震を想定した訓練では、グラウンドには雪が積もるなか、参加者が応急担架訓練や避難所誘導訓練などを実施。また、その後体育館に移動し、ゲームを通じて楽しく防災に関する知識を学びました。

同会センター長の横生均さん（河崎）は「訓練を通じて、災害時に落ち着いて行動できるようにになれば」と話していました。



虫眼鏡で化石をながめる参加者

2億年前の化石に興味津々

図書館講座「おおむかしのいきもの」開催

化石や石について学ぶ講座「おおむかしのいきもの」が、1月20日、さよう文化情報センターで行われ、集まった約30人が様々な化石について学びました。

図書館が主催。講座では、県立人と自然の博物館の研究者が講師を務め、化石の成り立ちについて学習。その後、化石のレプリカを作ったり、約2億年前の貝などを虫眼鏡で興味深く観察したりしていました。

鳴沢みゆさん（川原町）は「化石の歴史を楽しく学べた」と話していました。

税金の大切さを学びました

町内の小学校で「税」の学習

1月24日、中安小学校で役場税務課職員による租税教室があり、6年生の児童7人が税の大切さなどを学びました。

相生税務署と町が共催し、小学生に税に対する知識を持ってもらおうと毎年、町内の小学校で開催しています。教室では役場税務課の職員が税の種類や使途などを説明。その後、税がある世界とない世界を描いたアニメーションを観賞しました。

藤本温翔くん（下徳久下）は「税金がないと困ることが改めて実感した。大切に使うほしい」と話していました。



授業を熱心に聴く児童たち

安全安心と地域貢献も評価

ふれあいの里上月の「もち大豆みそ」が最優秀

西播磨地域の優れた食品を選ぶ「西播磨フードセレクション2012」が行われ、有限会社ふれあいの里上月の「もち大豆みそ」が最優秀のグランプリに輝きました。

同地域から102点が出品。おいしさやこだわり、安全・安心への取り組み、地域の貢献度などを基準に評価されました。

同社社長の野村真義さん（櫛田）は「味はもちろん、安全安心や地域への貢献度が高く評価されたことがうれしい。これからも味を守りながら、新たな商品開発にも挑戦したい」と意欲を見せていました。



受賞を喜ぶふれあいの里上月の皆さん

そばの実の食感を楽しんで

三日月特産加工組合の「そばの実入りパウンドケーキ」が県食生活改善協会賞

平成24年度ひょうごの農とくらし研究活動コンクールが行われ、農事組合法人味わいの里三日月の「そばの実入りパウンドケーキ」が努力賞にあたる県食生活改善協会賞を受賞しました。

県内から26点の加工品が出品。審査では「そば特有の食感を生み出した技術が高い」と評価されました。

開発に携わった山口めぐみさん（茶屋下）は「2カ月かけて完成した一品。そばの実の食感を楽しんで」と話していました。



受賞ケーキを手にする山口さん（右）と同組合の春江博明組合長

大切に守り続けていきたい

下徳久上集落・上宿地区の薬師堂を建て替え

下徳久上集落・上宿地区にある薬師堂が、このほど130年ぶりに建て替えられました。

堂は明治13年に建立。薬師如来が祭られ、病気平癒や学力向上のご利益のほか、同地区では「火事がないのは薬師如来のおかげ」と伝えられています。3年前の水害で堂につながる上宿橋が流出。このたび、橋の完成に伴い、建替えを計画。地域住民が出資し、ヒノキ製で瓦づくりの堂を新築しました。

近くの植田利一さん（下徳久上）は「これからは堂を大切に守り続けていきたい」と話していました。



建て替えられた薬師堂

さよう子どもアートスクールが作品展覧会を開催

1年の活動を振り返る作品 100 点が並ぶ



作品を見て活動を振り返るメンバーとサポーター

『佐用の自然はまるごとアート』をコンセプトに体験や創作活動を行うさよう子どもアートスクールが、1月29日から2月3日まで、さよう文化情報センターで作品展覧会を開催しました。

同スクールには、町内の小学1年から小学5年生10人が参加。高校生や大学生などサポーターがその活動を支えています。

今年度は、皆既日食に合わせ「日食グラス」の作成や、河川改修が進む佐用川で水質調査や生物調査などを実施。会場には、メンバーたちが制作した作品が並びました。また、最終日にはメンバーが活動を振り返る「ギャラリートーク」も行われました。

メンバーの徳久小5年・春井忍くん（平松）は「水根集落でのキャンプが特に印象に残っている。昆虫や星の観察が楽しかった」と話し、サポーターの佐用高校1年・福盛結菜さんは（西山）は「子どもたちの目線で話す力と、教える難しさを学んだ」と振り返っていました。

高年大学 学生募集

学びに終わりはありません
豊かな人生は「学び」から

町高年大学は、人と人とのふれあいのなかで、新しい教養を身につけ、趣味活動を充実させ、明るく生き生きとした日々を過ごすための「生涯学習講座」です。みんなで楽しく学びましょう。

上月教室 (陶芸)



間嶋太一郎さん（櫛田）

陶芸教室には、平成10年から通っています。根気が必要な陶芸を続けたおかげで、集中力が養われたような気がします。生徒の皆さんも家族みたいに仲が良いですよ。皆さんも、ぜひ参加してください。

Interview

三日月教室 (歌謡)



原芳美さん（茶屋上）

歌うことが大好きで、5年前から通っています。練習は月に2回。生徒37人が文化祭に向けて練習にはげんでいます。練習では、講師の先生がいつも場を和ませて、笑顔が絶えません。歌が大好きな皆さん、一緒に歌いませんか。

【募集要項】

- 学費 1人年間1,000円
ただし、専門講座・クラブなどの材料費など実費が必要
- 入学申し込み 生涯学習課、各支所地域振興室にある申込書で申し込みください。
- 申込締切 3月26日㊤
- その他 教室や講座の複数選択も可能。一般講座は4教室共通。所属教室以外のどの会場でも聴講できます。
- 問 生涯学習課（月曜休館） ☎82-3336
- 問 上月支所地域振興室 ☎86-1210
- 問 南光支所地域振興室 ☎78-0123
- 問 三日月支所地域振興室 ☎79-2982

佐用郡美術協会 会員展

ところ さよう文化情報センター

とき 3月29日（金）～31日（日）
午前9時～午後5時
※31日は午後3時まで

日本画
洋画
書
写真
工芸

■会員募集
日本画・洋画・書・写真・工芸の会員を募集しています。
(年会費1,000円)

問 生涯学習課 ☎82-3336（月曜休館）

高年大学佐用教室囲碁クラブ

新春囲碁大会で27人が熱戦

町高年大学囲碁クラブ主催の新春囲碁大会が、1月25日に町生きがづくりセンターで開かれました。

27人が参加し、熱戦が繰り広げられました。結果の次のとおりです（敬称略）。

- | | | |
|----|-----|-----------|
| A組 | 優勝 | 阿部靖彦（安川） |
| | 準優勝 | 木村光昭（宗行） |
| | 三位 | 坂本醇一（金屋） |
| B組 | 優勝 | 平田雍彦（川原町） |
| | 準優勝 | 津田道彦（西新宿） |
| | 三位 | 安本 弘（栄町） |



	佐用教室	上月教室	南光教室	三日月教室
開設場所	さよう文化情報センター	上月文化会館	南光文化センター	三日月文化センター
一般講座 各分野から講師を招いての講演（毎月1回）	午前10時～正午 第3木曜日	午前10時～正午 第3水曜日	午前10時～正午 第2木曜日	午前10時～正午 第2木曜日
専門講座 一般講座開催日の午後開催します ※学習計画は各部署で立案します	手芸、アートフラワー、栄養と料理、歴史、盆栽、生花、書道、俳句、工芸、コーラス	園芸、陶芸、手芸（ちぎり絵）、音楽、実用書道、パソコン	手芸（ちぎり絵）、コーラス、書道、園芸、料理	書道、歌謡、大正琴、健康ダンス、パソコン
クラブ活動 クラブ単位で開催日・活動内容を決定しています	ゲートボール、囲碁、ニュースポーツ、うたごえ	開催していません	開催していません	ゲートボール、グラウンドゴルフ、陶芸
対象者	学習意欲のあるおおむね60歳以上のかた			

※開催場所と一般講座の開催日は、内容によって変更する場合があります。

満開の桜を見に行こう
佐用町 桜まつり
第7回

当日はバザーやステージイベントなど、楽しいイベントが盛りだくさん。皆さんのお越しをお待ちしています。なお、河川改修のため、同公園の駐車台数に限りがあります。久崎小学校と棚澤八光社の駐車場を利用ください。(会場まではシャトルバスを運行します)

日時 4月7日(日) 午前10時▶午後2時

場所 笹ヶ丘公園/笹ヶ丘ドーム

「宿場町ひらふく・おもてなしイベント」開催

地域の団体が中心となって、「宿場町ひらふく・おもてなしイベント」を開催します。
■日時 4月7日(日) 午前10時~午後4時
※毎年4月に開催の宿場町ひらふく祭りは、今年、中止となりました。

問 商工観光課商工振興室 ☎82-0670

春休み特別上映
光都映画祭
入場無料

マダガスカル3やトムとジェリー、シャーロックホームズ、ハローキティなど、子どもたちが大好きな映画を上映します。入場は無料です。

上映スケジュールは、下記へお問い合わせください。

日時 3月23日(土)▶31日(日)
※25日(月)は休館日

場所 光都プラザ オプトピア
播磨科学公園都市内

■お問い合わせ
播磨科学公園都市まちづくり事務所
☎(0791)58-1115
オプトピア
☎(0791)58-1155

南光スポーツ公園で初

高校野球
春季西播地区大会 開催

南光スポーツ公園では初めて、高校野球(硬式)の公式戦が行われます。西播地区32校が対戦し、県大会に出場する7校を決定します。

日時 3月27日(水)▶29日(金)
場所 南光スポーツ公園 野球場

■入場料 無料
■試合 各日とも2試合を開催します(第1試合は午前10時から)。試合の組み合わせは未定です。くわしくは次へお問い合わせください。

問 南光支所地域振興室 ☎78-0123

出会いイベント

そば打ち体験 de えんむす日

そば打ち体験をしながら、独身男女が出会いを求めるイベントです。参加希望のかたは、次へお問い合わせください。

日時 3月24日(日) 味わいの里三日月
場所

■参加資格と人数 20歳以上39歳以下の独身男女 各12人
※ただし、男性は定職についているかたで町内にお住まいかお勤めのかた
■参加費 2,500円(そば打ち、昼食含む)
■申込締切 3月13日(日)

問 企画防災課まちづくり企画室 ☎82-0664

佐用クリーンセンター 直接搬入は3月29日(金)まで

2月号広報(2~3ページ)でお知らせしていますが、にしほりまクリーンセンターの本格稼動に伴い、佐用クリーンセンターへの直接搬入は3月29日(金)までとなります。

入れとなり、前日までに予約が必要となります。

■予約電話番号

にしほりまクリーンセンター ☎79-8550
佐用クリーンセンター ☎82-0293

4月1日以降は、「埋め立てごみ(陶器類、ガラス、かわらなど)」のみの受け

※手数料は、10㎡あたり1000円となります。

また、埋め立てごみが100㎡を超えるなど大量の場合や、本人以外が持ち込む場合には別途手続きの後、搬入してください。くわしくは、次へお問い合わせください。

問 佐用クリーンセンター ☎82-0293

ご存じですか 介護手当制度

町では、在宅高齢者、または在宅の重度心身障がい者(児)で寝たきりのかたを介護している家族に、介護手当を支給しています。

または障がい者本人、配偶者、扶養義務者)があり、支給は認定請求のあった翌月からとなります。

■支給額 月額1万円(3か月ごとに3万円ずつ年間4回支給)(重度障がい者(児)介護手当の場合、月額1万5千円の場合もある)。所得制限(高齢者

■対象者 65歳以上のかた、または重度障がい者で次の2項に該当する人を介護するかた
①居宅で6か月以上寝たきりの状態で、常時介護を必要とする状態

②【在宅高齢者の場合】居宅で認知症の状態、常時介護を必要とする状態
【在宅障がい者の場合】身体障がい者手帳1級または2級を所持されているかた、または重度的障がいと判定されたかたで、常時介護を必要とする状態
問 健康福祉課社会福祉推進室 ☎82-0661

下水道の使用人数は変わりませんか?

家族の異動は届出を

下水道使用料金は使用人数で算出しています。

3月・4月は入学や就職などで生活の拠点の変更(異動)が多い時期です。



使用人数の変更(異動事由)が生じる場合は、『下水道使用料変更届』が必要です。届出は、役場本庁(住民課)、各支所、出張所をお願いします。

問 上下水道課管理運営室 ☎86-1212

4月から新しい受給者証に

国民健康保険
高齢受給者証を更新



国民健康保険に加入し、高齢受給者証(70歳から74歳)をお持ちのかたで、一部負担割合が「2割(平成25年3月31日までは1割)」のかたは、4月1日から新しい受給者証になります。新しい受給者証は、3月下旬に郵便でお送りしますので、必ず内容をご確認ください。

なお、古い受給者証は、住民課、各支所・出張所に返却してください。

問 住民課年金・保険室 ☎82-0660

新着図書案内

2013.1.17 ~ 2013.2.14 受け入れ分の一部



「従病という生き方」 「子どもにけるお金の本」 「わたしは目で話します」

●大人向けの本

- 本屋さんで本当にあった心温まる物語
川上徹也／著 あさ出版
- 播磨の峠ものがたり
須磨岡 輯／著 神戸新聞総合出版センター
- 「ほめ言葉」が上手い人下手な人
和田秀樹／著 新講社
- 防災に役立つ地域の調べ方講座
牛山素行／著 古今書院
- 従病という生き方 神山五郎／著 草思社
- 子どもにけるお金の本 子どもにけるお金の考える会／著 主婦の友社
- 淡（うす）口しょうゆで仕上げるとびきりの和食
上野修三／監修 淡交社
- ひょうごのロングセラー115 神戸新聞経済部／編 神戸新聞総合出版センター
- ねんどでミニチュア コースターに飾る季節の小物
岡田ひとみ／著 主婦の友社

わかりやすいゲートボール

- 高橋隆輔／著 梧桐書院
- わたしは目で話します 一文字盤で伝える難病ALSのこと そして言葉の力
たかおまゆみ／著 偕成社
- 相場英雄／著 幻冬舎
- ▲血の轍
- ▲こちら弁天通りラッキーロード商店街
- 五十嵐貴久／著 光文社
- 宇江佐真理／著 集英社
- 糸車
- 冬芽の人 大沢在昌／著 新潮社
- 冤罪死刑 緒川 怜／著 講談社
- ★a bさんご 黒田夏子／著 文芸春秋
- へこたれない人 (物書同心居眠り紋蔵 [12])
佐藤雅美／著 講談社
- ★別れさせ屋の恋 新堂冬樹／著 ポプラ社
- 穢れた手 堂場瞬一／著 東京創元社
- 望郷 湊 かなえ／著 文芸春秋
- 人生の原則 曾野綾子／著 河出書房新社

●子ども向けの本

- 毎日小学生新聞のなるほどニュース新発見！
毎日小学生新聞／編 毎日新聞社
- 誰かに伝えたい！勇気がわいてくる科学者の言葉1～3
海部宣男／監修 金の星社
- つるばら村のパン屋さん
茂市久美子／作 講談社

▲は図書館と上月図書室に、★は図書館と南光図書室に、■は図書館と三日月図書室にあります。

すべての市民のくらしを応援します

としょかん だより

佐用町立図書館

佐用町佐用 2585 TEL 82-0874(おはなし) FAX 82-0313
図書館 HP <http://www.toshokan.town.sayo.lg.jp>
E-mail toshokan@town.sayo.lg.jp

4月7日(日)～13日(土) 館内特別整理を実施

通常の月末整理日には行えない所蔵図書の整理を行うため、4月7日(日)から13日(土)まで休館します。この期間の返却は、さよう文化情報センター玄関入口の返却ポストを利用ください。なお、期間中、図書の貸出や館内での閲覧はできません。

また、長期休館に伴い、3月24日(日)から4月6日(土)まで特別貸出を実施しま

す。この期間中は、貸出上限をなくして何冊でも借りることが出来ます。また、新刊雑誌の貸出期限も2週間に延長しますので、利用ください。

なお、各文化センター(会館)図書室は、図書館の特別整理期間中も通常通り開館しています。

図書館ホームページをご利用ください

図書館では、図書館の行事をお知らせしたり、図書館所蔵の本を調べたりすることが出来るホームページを設けています。また、ホームページから図書館の本の予約もできます。予約にはパスワードが必要です。図書館でパスワードの登録をお願いします。

おはなし会 (小さい人(5歳以上))

- 日時 毎週日曜日 午後2時～午後2時30分
- 3月のおはなし

3月 March 弥生							4月 April 卯月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				
31													

※○の日は休館日です。開館時間は午前10時～午後6時

- 対象 幼児・小学生
- 申し込み 不要
- 場所 図書館おはなしコーナー
- 日時 毎週土曜日 午後2時～午後2時30分

- 「さる地蔵」
- 日時 毎週日曜日 午後2時30分～午後3時
- 3月のおはなし 「鍾と椀とぬい針」
- 「としょかんボランティアあそびせ隊」のおはなし会

佐用町の誇り

町指定建造物 瑠璃寺宝篋印塔



宝篋印塔

豊かな自然の懐に抱かれた佐用町有数の古刹・瑠璃寺は、古い文物も豊富で、これまでも何度か紹介してきました。今回は、石造品「宝篋印塔」を紹介いたします。場所は瑠璃寺本堂の裏山ですが、やや急な斜面なことから、気軽に見るところにありません。

この塔は、土の基壇部分が上手に、塔本体はやや下手にずれています。これは何らかの事情で倒れたものを、本体のみ現位置に建て直したためとみられます。周辺からは土器の破片や北宋銭(中国の銭)が見つかり、またこの辺りが「納

経」とも呼ばれていることから、平安時代後期以降に経塚(※)が築かれ、後になつて宝篋印塔が建てられたのではないかと考えられています。

塔本体は安山岩製で、高さは120センチありますが、頂部の一部を欠いています。そして基礎部分正面に彫られる格狭間は、主に丹波・丹後地方でみられる特徴的な形をしており、また「道珍」「康正」(一四五六)の刻銘から願主・造立年が分かる貴重なものといえます。

※経塚 土中に経筒や教典を埋納し、盛土をした塚。末法の後まで教典を残すことを目的とし、後には、極楽往生や現世利益として造られるようになった。

問 教育委員会 ☎82・2424

地域包括支援センターだより

認知症タッチパネルを活用しましょう

認知症は早期の治療がとても大切です。結果として、長く、元気な状態を維持することができるとされています。

早期の発見のために、だれもが気軽に認知症の検査を受けられたら。そんな人のために開発されたのが、『認知症タッチパネル』です。1回5分程度のテストで、画面を押すだけという手軽さが魅力です。結果を見て、かかりつけ医などに相談するきっかけにもなります。

このほど、龍野健康福祉事務所にパネルが設置されました。少し遠いですが、興味のあるかたは、ぜひ体験してください。体験は



龍野健康福祉事務所に設置された「認知症タッチパネル」

- ※龍野健康福祉事務所
- 住所 たつの市龍野町富永1311-3
- 電話 0791・635144

問 地域包括支援センター (健康福祉課健康増進室) ☎87・8020

行事カレンダー

- **デイ・ケア** (精神障がい者社会復帰訓練事業)
3月13日(※) 28日(※) 午後1時30分～2時間
 - **こころのケア相談日** (要予約)
3月14日(※) 午後1時～午後3時
担当医：赤穂仁泉病院 深井院長
場所はいずれも町保健センター
- ☎健康福祉課 健康増進室 ☎87-8020

- **こころのケア相談日** (要予約)
4月5日(金) 午後1時～午後2時
 - **若者の心と体の相談** (要予約)
4月4日(※) 18日(※)
午後1時～午後2時50分
場所はいずれも龍野健康福祉事務所
- ☎龍野健康福祉事務所 ☎0791(63)5142

- 女性の健康づくり講演会**
『まだまだ輝く私づくり -更年期をさわやかに』
- **日時** 3月20日(祝) 午前10時～11時30分
 - **場所** さよう子育て支援センター
 - **講師** ウィメンズクリニックかみむら 上村院長
 - **定員** 60人 (参加無料)

赤ちゃん和妈妈の行事

- ★ **3歳児健診**
(平成22年1月～平成22年2月生まれ)
3月27日(※) 午後1時～
 - ★ **ヨチヨチ健康相談** (平成24年3月生まれ)
3月15日(金) 午後1時30分～
 - ★ **4カ月児健診** (平成24年11月生まれ)
3月25日(※) 午後1時30分～
 - ★ **すくすく離乳食教室**
4月4日(※) 午前10時～(平成24年9月生まれ)
 - ★ **0歳児クラス** (2カ月～1歳未満)
4月8日(※)
2カ月～6カ月児 午前10時30分～正午
7カ月～1歳未満児 午前10時～午前11時30分
 - ★ **すてきなママになるための教室** (妊婦)
3月25日(※) 午前9時30分～
4月8日(※) 午前10時～
- いずれも場所はさよう子育て支援センター

母子健康手帳の交付

母子健康手帳が必要な場合は、事前に次へ連絡してからお越しください。

☎上月保健福祉センター ☎87-8020
☎さよう子育て支援センター ☎82-0341

世帯全員が町県民税非課税ですか？

はい ↓ いいえ ↓
該当しません

世帯全員のそれぞれの所得が0円？
(ただし年金所得は、控除額を80万円で計算)
単身世帯で年金収入のみの場合、年金額は年額80万円以下？

はい ↓ いいえ ↓

あなたは区分1に該当します
あなたは区分2に該当します

入院予定がある場合は、事前に申請してください

入院時食事代の減額区分

区分	負担額	
一般	260円	
区分2	過去1年の入院日数が90日以内	210円
	過去1年の入院日数が90日以上	160円
区分1	100円	

後期高齢者医療制度 限度額適用・標準負担額減額認定証

入院時の一部負担金と食事代が減額

世帯全員が町県民税非課税の場合、入院時に支払う一部負担金と食事代が減額されます。該当のかたは必ず入院する前に申請してください。申請すると「限度額適用・標準負担額減額認定証」が交付されます。

- ※申請月の初日から適用。該当のかたは保険証、認印を持参のうえ、住民課、各支所・出張所で手続きをお願いします。
 - ※過去1年間以内に合計90日以上入院している場合、それを証明できるもの(領収書など)を持参(長期入院該当となり、別表の区分2に該当のかたは、さらに食事代が減額)。
 - ※証の発行をせずに、既に食事代などを支払ってしまった場合は、領収書、認印、還付先口座番号がわかるものを持参のうえ、住民課または各支所・出張所で償還払いを申請(時効は2年)。
- ☎住民課年金・保険室 ☎82-0660

こんにちは 保健師です

いつまでも元気で若々しくあるために

- ① **早寝早起きを心がけましょう**
女性ホルモンには眠りを誘う作用があり、その分泌が減る更年期は、寝つきが悪くなったり、深夜に目が覚めたりするなどの症状が出ます。その改善のため、早起きして朝日を浴びてみましょう。光を感じると脳内の体内時計がリセットされ、14～16時間後に眠くなるようになります。また、睡眠の質を上げるため12時前に寝ることを心がけましょう。深い眠りに入りやすく、ぐっすり眠れ、短めの睡眠時間でも心身の疲れが回復します。
- ② **1日10分多く体を動かす**
適度な運動は、筋肉の緊張をほぐすだけでなく、気持ちもほぐします。1日10分歩く時間

- やストレッチの時間を増やしましょう。自律神経の働きが整い、イライラなど不快な症状も和らぎます。
- ③ **バランスのとれた食事が大切**
基本的には食べ過ぎを避け、生活習慣病を防ぐことが大切です。特にビタミンA・C・Eを摂取し、体に抗酸化力をつけましょう。更年期にストレスはもちろん、体内の活性酸素も増加します。活性酸素は体内に侵入した細菌やウイルスの攻撃に必要ですが、増えすぎると細胞を酸化させ、体の老化を促します。ビタミンAはレバー、にんじん、しそなど、ビタミンCはレモン、ブロッコリーなど、ビタミンEはかぼちゃなどに豊富に含まれます。

栄養士の食育メモ

正しい食事を知って糖尿病を予防しよう

近年、生活スタイルの変化や高齢化などによって、生活習慣病の増加が問題となっています。特に糖尿病の有病者・予備群は佐用町でも増加しており、医療費に占める割合も高くなっています。

町いずみ会では、「糖尿病予防教室」を開催し、糖尿病を予防するバランスのとれた食事のとり方について学んでいます。

教室では、管理栄養士から、「食品のカロリーを知り、食べすぎないようにする」「季節の野菜を上手に使うって薄味でおいしく食べる」ことをポイントに献立の仕方について学びました。

また、調理実習ではサワラの幽庵焼き、五

目きんぴら、白菜と春菊のごま和えなど、薄味で野菜たっぷりの糖尿病予防食を作り、試食しました。



糖尿病予防を学ぶいずみ会の皆さん

くらしの **情報**
Information

お知らせ

今月の納税

確定申告による
所得税の納期限

納期限 **3月15日**金

口座振替日は4月22日

税務課 町税対策室
☎82-0662

後期高齢者医療保険料
(普通徴収) 第9期分

納期限 **4月1日**日

口座振替日は4月1日

住民課 年金・保険室
☎82-0660

お知らせ

2月～3月に建物・農機具
共済に加入した皆さんへ

建物・農機具共済に加入すると新しい共済証券が届きます。証券の記載内容を確認のうえ、建物・農機具共済証券受領書をポストへ投函してください。

なお、年度途中に、加入物件・契約者などに異動・変更が生じた場合は、ご連絡ください。

農林振興課農業共済推進室
☎82-0667

募集

自然学校での体験活動を指導
野外活動指導員を募集

自然学校で行う体験活動を指導するかたを募集しています。資格は問いません。

募集期間

3月13日(水)～29日(金)

主な活動

- ・自然観察(バードウォッチング、植物、昆虫など)
- ・木工、竹細工
- ・自然を活用した体験活動など

謝金

1日 8,000円
半日 4,000円

県立大学西はりま天文台
☎82-0598

募集

NHK-BS プレミアム「こころ旅」
エピソード募集

俳優・火野正平さんが全国各地を訪れる同番組では、町内の「忘れられない風景」にまつわる手紙を募集しています。手紙が採用されると火野さんが佐用町を訪れます。

県内の放送予定

4月29日(日)～5月5日(日)

応募期間 4月9日(水)必着

応募内容

住所、氏名、電話番号、性別、年齢 思い出の場所、場所にまつわるエピソード

応募方法

郵送：〒150-8001
NHK「こころ旅」宛
FAX：03-0465-1327

NHK ふれあいセンター
☎0570-066-066

募集

兵庫県高齢者放送大学
学生募集

ラジオを聴いて感想文を提出する学習スタイルです。

対象 60歳以上で県内在住のかた

募集人員 500人(先着順)。他に聴講制度もあります。

募集締切 4月12日(金)

経費 年間6,000円

放送 ラジオ関西で毎週土曜日の午前6時30分から30分間

期間 1年間

申し込み・お問い合わせ
兵庫県高齢者放送大学
☎079-424-3343

お知らせ

姫路子ども家庭センター
新庁舎に移転

姫路子ども家庭センターの庁舎が次のとおり移転しましたので、お知らせします。

所在地

姫路市新在家本町1丁目1-58

新しい電話番号

079-297-1261
※児童虐待防止24時間ホットラインは変更ありません。
☎079-294-9119

イベント

歴史と自然の散歩道散策
と皆田和紙体験の集い

上月歴史資料館を発着地とし、上月城跡や尾根道を散策しながら、目高地区を通過

同館を目指す全長7キロのコースを歩きます。



目高集落

日程 4月13日(日)

午前9時50分～午後3時
集合：上月歴史資料館
※皆田和紙の紙すき体験をされるかたは、午後4時ごろ終了予定

参加費 200円

紙すき体験は別途500円

申込方法 下記までFAXで申してください。

申し込み・お問い合わせ
利他の花咲く村
☎86-8777
FAX 86-8778

編集後記

◆平成25年県広報コンクールが行われ、広報紙町の部で昨年12月号が特選になりました。5年連続の特選受賞となります。◆受賞した12月号は、過疎化の進行によって活力が低下している佐用町で、古里を愛する思いを糧に、“なにくそ魂”を発揮して地域の誇りを守り、未来を切り開こうと頑張っている町民の皆さんの象徴的な取り組みを『佐用のチカラ』というテーマでまとめた特集号です。取材に応じてくださった皆さんに改めて感謝いたします◆“現状に満足せず、常に新しい挑戦を”。入庁した当時の上司から教えられた言葉です。来月号では紙面のリニューアルを予定しています。お楽しみに。⑤

iii人のうごき

2月14日現在()内は前月比

人口 19,262人(△23)
男 9,229人(△8)
女 10,033人(△15)
世帯数 7,109戸(△11)

2月中の移動
出生 7人 死亡 22人
転入 24人 転出 32人

お誕生おめでとう

1月16日から2月14日届出分 敬称略

名前 保護者 自治会

個人情報のため非公開

お悔やみ申し上げます

1月16日から2月14日届出分 敬称略

名前 年齢 自治会

個人情報のため非公開

名前 年齢 自治会

個人情報のため非公開

佐用チャンネル
放送更新日

3月15日(金)
29日(金)

ちょうみんカレンダー

3月上旬～4月上旬

月日	曜日	内容	場所	時間
3/12	火	中学校卒業式	各中学校	
13	水	高年大学上月教室閉講式	上月文化会館	10:00～
14	木	高年大学南光教室閉講式	南光文化センター	10:30～
19	火	高年大学三日月教室閉講式	三日月文化センター	10:00～
21	木	小学校卒業式	各小学校	
22	金	高年大学佐用教室閉講式	さよう文化情報センター	10:00～
24	日	そば打ち de えんむす日	17号をご覧ください	
25	月	保育園卒園式	各保育園	
29	金	郡美術協会会員展(～31日)	15号をご覧ください	
4/5	金	保育園入園式	各保育園	
7	日	消防初出式 佐用町桜まつり	南光スポーツ公園	10:00～
8	月	小・中学校入学式	各小中学校	

笑顔の



VOI.9

小紫光慈さん（船越）

元の生活を取り戻すまで 寄り添い続けたい



インターネットのコミュニティサイト「FaceBook（フェイスブック）」で活動内容を発信する小紫さん。「『友師会』で検索して、一度見てもらえたら」と話していました。

東日本大震災発生から今月で2年。未曾有の大災害は、いまなお被災地に大きな爪あとを残しています。

船越集落にある常福院の副住職を務める小紫光慈さん。播磨地域に住む真宗の若手僧侶などで結成したボランティアグループ「友師会」のメンバーとして、発生直後から被災した宮城県山元町で支援活動を続けています。

「平成21年8月の水害で寺や自宅が被災し、多くの皆さんに助けられました。何とか役に立ちたい一心だった」と小紫さんは活動に対する思いを口にします。最初に現地を訪れた際、がれきが広がる光景に言葉が失ったという小紫さん。発生当初は救援物資を届け、がれきの撤去や泥かきにあたりました。その後、被災者が集えるプレハブ製の施設を建設。足湯マッサージやお茶会などを開催し、直接被災者の声に耳を傾けてきました。

「当初、打ち解けにくかつ

笑顔でまちを彩ろう

た被災者も徐々に心を広げ、自ら話かけてくれるようになった」と小紫さん。「でも、震災から2年も経とうとしているのに、現実が変わらないイラ立ちの表情が垣間見える」と話します。

小紫さんは活動を通じ、被災地に対する人々の関心が徐々に薄れてきていると感じています。「まだまだ復興にはほど遠い。現地に行けなくても、自分自身で何かできることがあるはず」と語気を強めます。

町では山元町へ昨年4月から職員一人を派遣し、支援にあたっています。「山元町の皆さんはもちろん、すべての被災者に少しでも早く、元の生活を取り戻してほしい。それまで寄り添い続けたい」。優しい表情でこう語る小紫さんは、来月も山元町に向かいます。



足湯マッサージの様子

わが家のアイドル

かな
小竹花奈ちゃん

おしゃべりや歌を歌うことが大好きで、元気いっぱいの子供です。ママやおばあちゃんの料理のお手伝いをよくしてくれます。ずっと笑顔でいてね。

